

軽井沢エコツーリズムポリシー

自然と文化が奏でる軽井沢

軽井沢町は雄大な活火山・浅間山の南山麓に広がる高原の町です。明治19年(1886年)、カナダ生まれの英国聖公会宣教師A・C・ショーが当地を訪れ、軽井沢の気候風土を「屋根のない病院、天然のサナトリウム(療養所)」だと賞賛し、その素晴らしさを広め伝えたことが避暑地としてのスタートだと言われています。

東京から北陸新幹線で約1時間という近さにありながら、冷涼な高原の気候と緑豊かな自然環境は世界の人々に愛され、130年余にわたり国際的な保健休養地として独自の発展をしてきました。

軽井沢が誇る美しい自然や景観は、自然からの贈り物であると同時に、先人たちが築き上げ、町民が大切に守り継承しているものです。この豊かな自然・歴史・文化を活用した国立公園内の自然歩道・自然環境等を活用したプログラムや熊野皇大神社から追分宿までの歴史ある中山道を活用したプログラムを世界基準となるSDGsを踏まえながら造成していきます。

自然との共存の素晴らしさと文化・環境保全の重要性を認識していただくと共に、「自然と文化が奏でる軽井沢」をつくろうと力を合わせ、その価値をさらに高めながら未来へと軽井沢版エコツーリズムを推進してまいります。

2020年

*Policy of
Karuzawa
Eco Tourism*



自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、それらの保全につながることを目指していく仕組みです。

お問い合わせ 軽井沢町エコツーリズム推進協議会
事務局(軽井沢町観光経済課) TEL: 0267-45-8579
<https://www.town.karuzawa.lg.jp/>



2021.2

観る 育む 感じる 食べる 遊ぶ



美しい森林・里山の自然を守り、育て、楽しみ、
軽井沢の伝統と文化が体験できる未来創生プロジェクト

軽井沢エコツーリズム

KARUIZAWA ECO TOURISM

軽井沢町エコツーリズム推進協議会

